



12月23日(火)
5日目

オレンジリボン運動支援競走 Mooovi浜名湖6周年記念 12/19・20・21・22・**23**・24



スマートフォンサイト

印	枠	登番	選手名	級別	平均ST	F/L	モーター		ポート		評価	出足	伸び足	回り足	節間成績					早見
							番号	2連対率	番号	2連対率					3 -	2 3	- 6	5 5	- -	
一般	1	4197	渥美 卓郎	B1	18		52	23.4	46	30.5					3 -	2 3	- 6	5 5	- -	
	2	4421	森作 広大	B1	18		61	29.2	36	19.3					5 3	- 4	5 5	3 -	- -	8
	3	4355	小川 広大	B1	20		63	32.1	75	34.3					3 3	5 -	5 -	5 6	- -	
	4	3619	長谷川 充	B1	20		62	31.0	40	34.2					4 -	1 6	1 -	5 5	- -	5
	5	3690	河合 三弘	B1	18		58	15.6	38	27.9					1 6	- 6	4 3	3 -	- -	9
	X	6	4954	内山 峻輔	B2	00		47	33.1	71	33.3				6 -	1 2	- 2	5 4	- -	7
一般	締切時刻 10:34	選手コメント	1 伸びが足りなくて、スタートが届かない。 2 全体にましになった気がする。 3 起こしが重たくて、出足も良くない。 4 後半はペラが合ってなかったけど、回転は上がってた。 5 行き足は悪くなくてスタートできるけど、1Mは少し流れた。 6 後半の時間帯は回り過ぎ。ターン後の押しがすかすかしてた。											進入予想			自信度			
													123/456			65%				
													フォーカス							
													1=4-5 1=4-6 1=5-4							
													1=5-6 1=6-4							



スマートフォンサイト



シリーズの中核はSGウイナーの中澤和志。今年は3月の多摩川一般戦と5月の戸田GW戦で優勝しているだけでなく、来期適用率を参戦メンバートップの7.18としている。また、今年3(2月の蒲郡一般戦)・7月の桐生一般戦・9月の多摩川一般戦)としているのが北野輝葉。果敢に攻めることが多いだけにレースに対する意欲も注目したい。両者を追うのがペテランの武田光司。今年は優勝こそないが来期適用率を参戦メンバー2位で77.09。3連対率は76.1%と極めて高く舟券作成の強い味方だ。こうした歴戦の雄に挑む若手代表が井本昌也。直前の下関周年記念は予想実績を果たせなかつたが、さばきはバグン。4月の下関ルーキーシリーズと6月の尼崎一般戦を制している実力派だ。さらに、行き足から伸びを上げレースの主導権を握る竹田辰也のほか、記念戦線で鍛えた調整力やレース展開力で混戦を抜け出していく林美憲などメンバーは多彩。節走の浜名湖は熱く燃え上がるところだろう。



スマートフォンサイト